

国際地球観測年外国資料入手手続について

国際地球観測年研究連絡委員会からつぎのような入手手続についての連絡があったので、原文のままのせる。

1957年7月以降における世界各地の地磁気、夜光、電離層、宇宙線、放射能の観測資料は、この五部門のIGY世界資料センターが日本にも置かれておりますので、世界各観測所における資料が集積されつつあります。各資料センターに、現在どれだけの資料が集まっているかを詳しく皆様にお知らせすることは、早急にはできかねますが、近く日本学術会議国際地球観測年研究連絡委員会係で適当な資料を作成し、配布する予定であります。とりあえず御参考までに各資料センターに集まりつつある資料の主なものについてその種類及び集まり具合の概略をまとめてみますと次のとおりです。

地磁気 三成分毎時値表(毎月3枚)、通常三成分記録(毎日1枚)、早廻し記録(毎日1~2枚が標準)、C表及びK表(毎月1枚)、地電流記録及び読取表、集まり具合は平均半年おくれ

夜光 夜光天頂強度(毎夜1枚)、米国資料の集まりが悪い

電離層 垂直打上観測結果(各要素月1枚)、f—plot(毎日1枚、世界日のみ)、ionogram(15分毎の記録、世界日のみ)、吸収測定、drift測定(平均1月10枚程度)、ウィスラー(平均1日1枚)空電、大体半年おくらせて集まる。

宇宙線 中性子強度、中性子強度値(各種目毎月1枚)、約3ヶ月おくらせて集まる。

放射能 雨水の全放射能、浮遊塵の全放射能が大体5ヶ月おくらせて集まる。化学分析結果及び海水放射能、高空放射能の報告は現在までのところ更に1~2ヶ月おくらせて集まる見込み。

これらの資料を、国内研究者がわざわざ各資料センタ

一を訪れなくとも資料を入手することができるように、丸善株式会社マイクロフィルム製作販売業務を扱ってもらうことにしました。

つきましては、外国資料購入希望者は、観測部門、種類、観測地点、所要期間、マイクロフィルム届け先等を明記の上

東京都中央区日本橋通2丁目6番地

丸善株式会社書籍部

あてお申込下さい。

ただし、地磁気資料に限り、磁気資料センターでフィルム作成購入ができますので、御希望の方は

京都市左京区吉田本町

京都大学図書館地磁気資料センター

あてに購入申込をされて結構です。勿論、丸善書籍部に申込まれても差支えありません。

また、現在全部門の資料の集まり状況を記した資料は、日本学術会議国際地球観測年研究連絡委員会係にも保管してありますから御覧下さい。

なお、各観測部門について観測地点分布、資料についての詳しいことは、それぞれ下記の資料センター責任者にお問合わせ下さい。

地磁気 京都市左京区吉田本町

京都大学理学部地球物理学教室 太田 柁次郎

夜光 東京都三鷹市大沢 東京天文台 古畑 正秋

電離層 東京都北多摩郡国分寺局内

郵政省電波研究所 岡登 博美

宇宙線 東京都板橋区板橋町6の3569

科学研究所板橋分室 宮崎友喜雄

放射能 東京都千代田区大手町

気象庁観測部測候課 太田 正次

(日本学術会議 国際地球観測年研究連絡委員会

委員長 長谷川万吉)

〔至急〕

「航空気象」特集号の再募集について

「気象研究ノート」航空気象特集号は各方面よりの要望が多く、いつもより多く印刷しましたが、学会には現在、在庫が全くない次第です。それで第2版を作りたいと思っておりますが、それには部数が最低400部まとまりませんと採算がとれませんので、さらに必要とされる向は至

急(11月10日まで)下記まで部数明記の上、御連絡下さい。(127頁、定価は学会員270円、会員外350円)

東京都千代田区大手町1の7 気象庁予報課内

根本 順吉